

県立都市公園のあり方検討会について

(1) 設置の経緯

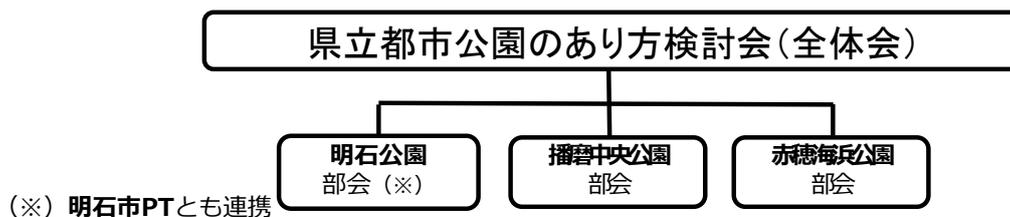
県立明石公園において、令和3年度に行った文化財の保全等を目的とした樹木伐採について、伐採反対など多くの意見が寄せられた。また、Twitter等のSNSやYouTube等の動画配信に加え、マスコミ報道により全国的な関心事項となった。

一方、民間活力の導入による公園の活性化が全国各地で進んでいることから、兵庫県でも、県立都市公園での民間活力導入の可能性について、令和4年1月から民間事業者へのヒアリングを始めたところ、県立都市公園が有料化される等の誤解がSNSを中心に広まったほか、民間主導の事業に対する様々な不安や、民間活力の導入に際して地域の声の反映を求める意見等も寄せられた。

そこで、県立都市公園の「自然環境保全」や「活性化」のあり方について、一旦立ち止まって検討を行うための「県立都市公園のあり方検討会」を令和4年度に設置した。

(2) 検討体制

県立都市公園全体の議論を行う全体会の下、明石公園、播磨中央公園、赤穂海浜公園に部会を設けた。



(3) 検討テーマ

全体会において、「自然環境保全のあり方」、「活性化のあり方」に係る検討事項や、検討に当たっての基本的考え方をとりまとめ、各公園の部会において具体的な検討を行なった。

ア 自然環境保全のあり方

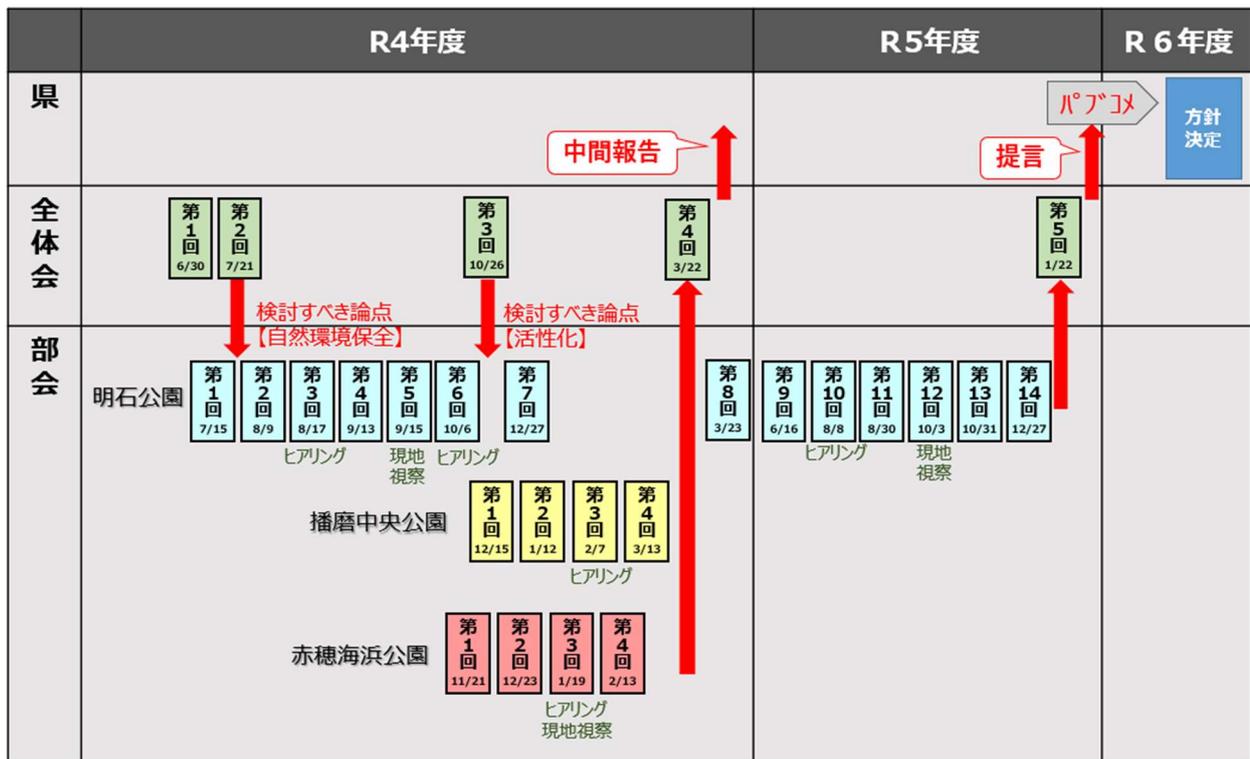
- ① ゾーニング図の作成(自然環境保全と公園利用者の安全とのバランスの考え方)
- ② 実際に樹木管理を行う際(計画策定前段階)の合意形成のルール設定
- ③ 公園管理に関する情報発信(工事着手前段階)のルール設定
- ④ 公園管理に県民が参画するための取組みの実施

イ 活性化のあり方

- ① 今後の公園の管理運営の進め方
- ② Park-PFIなど新たなパークマネジメントの導入の進め方
- ③ 老朽施設の活用のあり方
- ④ 情報共有マネジメントのあり方

(4) これまでの検討スケジュール

- ・全体会は計5回開催し、令和6年3月に県への提言書を提出。
- ・明石公園部会は計14回、赤穂海浜公園部会、播磨中央公園部会はそれぞれ年計4回開催し、とりまとめを実施。



(5) 全体会での検討内容

回	開催日	検討内容
第1回	R4.6.30	・部会で検討すべき論点(自然環境保全)の議論
第2回	R4.7.21	・部会で検討すべき論点(自然環境保全、活性化)の議論
第3回	R4.10.26	・部会で検討すべき論点(活性化)の議論
第4回	R5.3.22	・中間報告とりまとめ
第5回	R6.1.22	・部会での議論を踏まえ、提言とりまとめ

(6) 明石公園部会

回	開催日	検討内容
第1回	R4.7.15	・これまでの明石公園での県の取組みや課題等を説明
第2回	R4.8.9	・「自然環境保全のあり方」について検討
第3回	R4.8.17	・公開ヒアリング ※発表者 18 組 (テーマ:陸上競技場、第一野球場の改修、子どもの村のインクルーシブ遊具の整備)
第4回	R4.9.13	・ <u>陸上競技場、第一野球場の改修の方針について、部会として了承</u> ・「自然環境保全のあり方」について検討 ・インクルーシブ遊具の整備等について検討
第5回	R4.9.15	・現地視察
第6回	R4.10.6	・ <u>公園内のインクルーシブ遊具の整備方針について、部会として了承</u> ・公開ヒアリング ※発表者 18 組(テーマ:自然環境保全)
第7回	R4.12.27	・「自然環境保全のあり方」について検討 ・管理運営協議会等の立上げについて検討

第8回	R5.3.23	・「自然環境保全のあり方」について検討 ・管理運営協議会等の立上げについて検討
第9回	R5.6.16	・「活性化のあり方」について検討
第10回	R5.8.8	・公開ヒアリング ※発表者 17 組(テーマ:活性化)
第11回	R5.8.30	・「自然環境保全のあり方」について検討 (テーマ:眺望ゾーン、石垣周辺における樹木管理) ・「活性化のあり方」について検討
第12回	R5.10.3	・ <u>現地視察(石垣周辺の樹木 1 本 1 本の確認)</u>
第13回	R5.10.31	・眺望ゾーンについて検討 ・石垣周辺における樹木管理について検討 ・「活性化のあり方」について検討
第14回	R5.12.27	・とりまとめ



[会合の様子]



[現地視察の様子]



[公開ヒアリングの様子]

(7) 赤穂海浜公園部会

回	開催日	検討内容
第1回	R4.11.21	・これまでの赤穂海浜公園での県の取り組みや課題等を説明
第2回	R4.12.23	・「自然環境保全のあり方」、「活性化のあり方」について検討
第3回	R5.1.19	・現地視察 ・公開ヒアリング ※発表者 11 組 (テーマ:自然環境保全、活性化等)
第4回	R5.2.13	・とりまとめ

(8) 播磨中央公園部会

回	開催日	検討内容
第1回	R4.12.15	・これまでの播磨中央公園での県の取り組みや課題等を説明
第2回	R5.1.12	・「自然環境保全のあり方」、「活性化のあり方」について検討
第3回	R5.2/7	・現地視察 ・公開ヒアリング ※発表者 10 組 (テーマ:自然環境保全、活性化等)
第4回	R5.3.13	・とりまとめ



[赤穂海浜公園 現地視察の様子]



[播磨中央公園 公開ヒアリングの様子]

(9) 県立都市公園の整備・管理運営方針

- ・全体会から交付された提言を踏まえ、「県立都市公園の整備・管理運営方針（案）」を策定し、この方針案について令和6年3月27日から4月16日までパブリックコメントを実施した。
- ・パブリックコメントで提出された提案、意見を踏まえ、県の方針を決定。

(10) 他の県立都市公園への展開

- ・令和4年度の検討結果をふまえて取りまとめられた中間報告の方針に基づき、あり方検討を他の県立都市公園にも展開することとされた。
- ・令和5年度は西猪名公園、舞子公園であり方検討を実施し、管理運営ルールのとりのまとめを行った。
- ・今回決定された整備・管理運営方針でも、自然環境保全と活性化のあり方に関する検討事項を各県立都市公園においても対応を進めることとされた。
- ・これを受けて、令和6年度は、一庫公園、有馬富士公園、丹波並木道中央公園、の3公園で検討を実施し、管理運営ルールのとりのまとめを行った。
- ・令和7年度は、引き続き丹波並木道中央公園と新たに甲山森林公園、淡路島公園・あわじ石の寝屋緑地の計3公園で実施予定。